

やまぐちの文学再発見

日程 平成 26 年 6 月 28 日(土)・7 月 5 日(土)・7 月 12 日(土)・7 月 26 日(土)

会場 柳井市文化福祉会館 (〒742-0021 柳井市柳井 3718 番地)

日時	講座テーマ・内容	講師
〈第 1 回〉 6 月 28 日(土) 10:00 ~ 11:30	瀬戸内の文化—文学を中心に— ●瀬戸内海とその沿岸は穏やかな気候と、豊かな人情に恵まれ、古来、多くの人物や産物が往来し、様々な歌や物語が伝えられてきました。万葉集から中世王朝物語、近現代の人や作品まで、まとめて眺めてみましょう。柳の下には「どぜう」がいたりするかも…。	山口県立大学 名誉教授 福田 百合子
〈第 2 回〉 7 月 5 日(土) 10:00 ~ 11:30	国木田独歩の短篇小説を読む ●国木田独歩は、代表作「武蔵野」で知られるように、日清戦争後の文壇で活躍した小説家のひとりです。また、官吏であった父親の転勤に伴って、少年時代を山口市や柳井市で過ごしていることも知られています。今回は、国木田独歩の小説にふれ、その魅力について考えてみたいと思います。	郷土文学資料 センター研究員 加藤 禎行
〈第 3 回〉 7 月 12 日(土) 10:00 ~ 11:30	江戸時代の小説に描かれた大内氏 ●戦国大名・大内氏は中世末期に滅亡しましたが、その名は江戸時代の複数の小説に登場します。いずれも虚構（フィクション）なのですが、その描かれ方には特色があるようです。この点を追求しながら、江戸時代の小説を味わってみましょう。	郷土文学資料 センター研究員 木越 俊介
〈第 4 回〉 7 月 26 日(土) 10:00 ~ 11:30	『平家物語』 入門 ●『平家物語』は、山口県の壇ノ浦も舞台となっている日本中世文学の代表的作品ですが、本当はどのような物語なのか、ご存知でしょうか。おおまかな内容はもとより、多くの本があること、成立事情、そして琵琶法師のことなど、一般にはあまり知られていない謎と魅力についてお話しします。	郷土文学資料 センター所長 稲田 秀雄

- 定員 40人 (定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。)
- 受講料 1,500円 (全 4 回分)
- 受講方法 原則全講座受講としますが、部分受講も可能です。全講座を受講された方には修了証を授与します。
- 申込方法 電話、FAX またははがきで、住所・氏名・電話番号を下記の宛先までお知らせください。

〒742-8714 柳井市南町一丁目10番2号
柳井市教育委員会 生涯学習スポーツ推進課
TEL : 0820-22-2111内線331 FAX : 0820-23-7371

- 申込締切 平成 26 年 6 月 19 日 (木) 必着
- 受講通知 講座開始の約 1 週間前までに、各自へお知らせします。

〈主催〉山口県立大学 〈共催〉柳井市教育委員会

